

理事会議事録

日 時：2004年3月22日(月)12:10～15:10

場 所：名古屋大学東山キャンパス共通教育棟会議室1(1F14番)

出席者：松田, 祖父江, 若松, 杉山, 郷田, 関井, 松原, 土橋, 土居, 田, 蜂巢, 谷口, 粟木, 佐藤, 花見

欠席者：なし

有効委任状提出者：なし

ほかに, 東條事務長が出席した.

議事に先立ち, 署名人を選出した.

議 長：松田卓也

署名人：杉山 直, 郷田直輝

報 告

1. 前回議事録の確認(資料1)

杉山理事より前回(2004年1月10日)の理事会議事録が報告され, 原案どおり承認された.

2. 2004年春季年会について

開催中の年会の講演数(申し込み597件), ポストデッドライン, 企画セッション, 記者会見などの基本事項について, 土居理事より報告があった. 名古屋市科学館で行われた公開講演会について, 抽選で選ばれた340名ほどの出席者であり, 非常に盛況であった等の報告が田理事よりあった. 今回の成功を受けて, 今後も科学館などとタイアップして行うことが提案された.

3. 次回以降の年会について(資料2)

2004年秋季年会について, 花見理事より準備状況が説明された. 次回以降の年会に対する留意事項として, 今回の年会で, ポスターボードが大量に破損した件についての経緯や, アルバイトの募集がうまくいったことなどが, 佐藤理事より報告があった. 北海道大学で行われる予定である2005年秋季年会の日程が決まった. 10月6日(木)～8日(土)の日程で行われる予定である.

4. その他

(ア) 総会議題など(資料3)

今回の年会での総会の議題について, 杉山理事より報告があった.

(イ) 会員名簿の流出について(資料4)

会員から, 会員名簿が名簿業者に流出しているとの報告を受けたことが杉山理事より紹介された. 本年度は名簿改定が行われることもあり, 取り扱いには十分注意されたい.

(ウ) 「月と星座の早見盤」特許について(資料5)

天文教材小委員会柴田委員長より, 柴田委員長が発明者である「月と星座の早見盤」に関する特許を, 三省堂と日本天文学会が共同で出願することの提案があり, 杉山理事が代理で事情説明を行った. 提案自体は, すでに持ち回りの理事会で承認されている. 出願手続きは三省堂が担当し, 特許申請にかかわる経費, および維持費に相当する特許料は, 三省堂と日本天文学会が折半する.

(エ) 佐藤明達氏より早川基金に500万円のご寄付をいただいた.

(オ) 創立100周年記念出版事業編集委員会報告

標記委員会について、祖父江副理事長(編集委員)より活動報告があった。Web上で
のアンケートを行う準備が整いつつある。

議 題

1. 新入会員の承認(資料6)

杉山理事より、資料に基づき、新会員の入会が承認された。併せて、退会者の報告があ
った。

2. 「日本天文学会委員会等に関する共通内規」の改正と天文教材小委員会の名称変更(資料 7)

杉山理事より、改正案(資料7)が提案され、質疑応答の後、承認された。評議員会に、諮
ることとなった。そこで認められれば、天文教材小委員会は、天文教材委員会に名称変
更される。

3. 特別会計の基金化に関する規程制定(資料8)

関井理事より、内部留保水準の見かけ上の高水準を解消するために、財産運用に関する
実務レベルの規程を制定するという提案と、規程の原案(資料8)の説明があり、質疑応答
の後、承認された。

4. その他

(ア) 新事業等について(資料9)

祖父江副理事長より、現在の事務体制を見直し、欧文研究報告編集部の編集員1名
を常勤化すべきではないか、という提案があった。現在、1名の編集員が実質的に
は常勤と同様な勤務実態があるとの補足説明が、蜂巢欧文研究報告編集委員長、東
條事務長からあった。ここで考えている常勤とは、有期雇用ではあるが、国家公務
員行政職1-2の俸給表を適用し、健康保険、年金などについても、天文学会が応分
の負担をする、ということである。現在、管理費、出版費の減少などから、天文学
会の財政状況が健全であり、また今後も、少なくとも数年の間はこの状況が大きく
変化することはない、との見通しもあることから、1名の常勤化が認められた。つ
づいて、臨時の事業として、(1) 講師派遣事業の強化、(2) 年会登録料の減額、(3)
天文学会百年史編纂、について検討が行われた。(1)については、要求の一部であ
る名簿管理システムに関して、セキリュティー面の不安などから緊急を要する事項
であるので、通常の学会の経費から支出する要求を出すことになった。もう一つの
要求である運営経費に関しては、講師データベース等が完成してから検討すること
となった。(2)については、会員の年会登録料を2,000円減額し、1,000円にする
方向で考えることとなった。(3)については、実際の活動は次期の理事会からにな
ると考えられるが、今期中には百年史編纂編集委員会(仮称)を立ち上げる方向で検
討することとなった。委員会の予算に関しては、基金化をすることも検討する。

(イ) 来年度からの新役員・新委員の選出(資料10)

連休明けに実務担当理事会を行い、7月の理事会、評議員会に提出する原案を検討
することとなった。それに合わせて、杉山理事が、委員会の委員長、各理事に原案
の作成を依頼する。締め切りは5月10日。

(ウ) 「日本天文学会欧文報告論文賞内規」の変更

当該内規で、賞の名称を含め、正しくは「日本天文学会欧文研究報告論文」とある
べき箇所がすべて「日本天文学会欧文報告論文」と誤記されているので、修正した
いとの提案が杉山理事よりあった。賞の名前だけはこれまでどおりにしておく、と
いう案と、すべて変更する、という2案が提示され、検討されたが、すべて変更す
ることになり、評議員会に諮ることとなった。

(工) 日本宇宙フォーラム, 衛星設計コンテスト主催について

地球電磁気・地球惑星圏学会より, 日本天文学会にも標記コンテストの主催に加わってもらえないか, との非公式の打診が田理事を通じてあり, 郷田理事から補足説明があった. 実行委員や審査委員に人を出し, また天文学会賞を出すということが, 主催に加わることを意味であるとの説明であった. 原則的には, 主催に加わる方向が確認されたが, 正式な依頼を待つこととなった.

(オ) 次回は7月3日(土), 11時から, 国立天文台(三鷹)で開催することを確認した.

2004年4月20日

議長 松田卓也 印

署名人 郷田直輝 印

署名人 杉山 直 印